

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援 ルピナス教室		
○保護者評価実施期間	2025年 12 月 15 日		～ 2026年 1 月 14 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 4名
○従業者評価実施期間	2025年 12 月 15 日		～ 2026年 1 月 14 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2名	(回答者数) 2名
○訪問先施設評価実施期間	2025年 12 月 15 日		～ 2026年 1 月 14 日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1 月 26 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保育所等訪問利用の児童のほとんどが児童発達支援も利用しており、支援につなげやすい。児童発達支援での活動の様子と比較がしやすい。	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所等訪問で得た情報を全職員に共有し、支援に臨んでいる。 ・園で見て、良かったところを事業所での活動でも反映させている。 	保育所等訪問で得た情報を全職員に共有し、支援に臨んでいるが、それを深めるところまで至っていないので、話し合いの機会を設け、保育所等訪問をより効果的なものにした。
2	市の療育相談センターと連携をとる、利用児が通所している他の児童発達支援事業所と情報共有をする(保護者の許可は得ている)など、地域連携ができていること	<ul style="list-style-type: none"> ・テストケースではあったが、市の療育センターと一緒に保育所等訪問を行った。関係機関連携について深めることが出来た。 ・保育所等訪問で得た情報を利用児が通所する他の児童発達支援事業所と情報共有を行い、別の事業所での支援にも生かすことが出来た。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に市の療育センターなどと連携を取り、もっと効果的な支援を提供できるようにしている。 ・情報共有は全ての事業所には出来ていないので、もっと多くの事業所と同じような形を取り、地域で支援するスタンスに持って行きたい。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族支援プログラムが確立していない(家族支援が弱い)	<ul style="list-style-type: none"> ・利用児の事業所での活動、園での活動ばかりが目が行き、家族支援が弱いと感じている。 ・プログラムが確立していない ・家族支援に対する知識や技術が不十分 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族支援プログラムの確立。 ・園、事業所だけでなく、ご家庭の方でも生かせるような助言等の支援を行う。
2			
3			